



Sun StorEdge™ 5210 NAS ご使用にあたって

Sun Microsystems, Inc.
www.sun.com

Part No. 819-1774-10
2005 年 5 月, Revision A

コメントの送付: <http://www.sun.com/hwdocs/feedback>

Copyright 2005 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A. All rights reserved.

米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします)は、本書に記述されている技術に関する知的所有権を有しています。これら知的所有権には、<http://www.sun.com/patents>に掲載されているひとつまたは複数の米国特許、および米国ならびにその他の国におけるひとつまたは複数の特許または出願中の特許が含まれています。

本書およびそれに付随する製品は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社の書面による事前の許可なく、本製品および本書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品のフォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権法により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

本製品は、株式会社モリサワからライセンス供与されたリュウミン L-KL (Ryumin-Light) および中ゴシック BBB (GothicBBB-Medium) のフォント・データを含んでいます。

本製品に含まれる HG 明朝 L と HG ゴシック B は、株式会社リコーがリョービマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。平成明朝体 W3 は、株式会社リコーが財団法人日本規格協会 文字フォント開発・普及センターからライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。また、HG 明朝 L と HG ゴシック B の補助漢字部分は、平成明朝体 W3 の補助漢字を使用しています。なお、フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun、Sun Microsystems、AnswerBook2、docs.sun.com、Sun StorEdge、Java は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems 社の商標もしくは登録商標です。サンのロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

Mozilla、Netscape、Netscape Navigator は、米国およびその他の国における Netscape Communications Corporation の商標もしくは登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャーに基づくものです。

OPENLOOK、OpenBoot、JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

ATOK は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。ATOK8 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK8 にかかる著作権その他の権利は、すべて株式会社ジャストシステムに帰属します。ATOK Server/ATOK12 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK Server/ATOK12 にかかる著作権その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPENLOOK および Sun™ Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザー・インターフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

U.S. Government Rights—Commercial use. Government users are subject to the Sun Microsystems, Inc. standard license agreement and applicable provisions of the FAR and its supplements.

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

本書には、技術的な誤りまたは誤植のある可能性があります。また、本書に記載された情報には、定期的に変更が行われ、かかる変更は本書の最新版に反映されます。さらに、米国サンまたは日本サンは、本書に記載された製品またはプログラムを、予告なく改良または変更することがあります。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法 (外為法) に定められる戦略物資等 (貨物または役務) に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典: Sun StorEdge 5210 NAS Release Notes
Part No: 817-6657-15
Revision A



Adobe PostScript

目次

| | |
|----------------|---|
| システムの要件 | 1 |
| このリリースで解決された問題 | 2 |
| 既知の問題 | 2 |
| マニュアルの補足 | 4 |
| 関連マニュアル | 5 |
| Sun の技術サポート | 5 |

Sun StorEdge 5210 NAS

ご使用にあたって

このマニュアルでは、製品マニュアルを発行した時点では記載できなかった、Sun StorEdge™ 5210 NAS に関する重要な情報について説明します。このマニュアルを読んで、Sun StorEdge 5210 NAS の設置および操作に影響を与える可能性のある問題や要件を確認してください。

- 1 ページの「システムの要件」
- 2 ページの「このリリースで解決された問題」
- 2 ページの「既知の問題」
- 4 ページの「マニュアルの補足」
- 5 ページの「関連マニュアル」
- 5 ページの「Sun の技術サポート」

重要 – システムは、一度に1つの管理ログインのみをサポートしています。

システムの要件

Sun StorEdge 5210 NAS システムは、Web Administrator ソフトウェアがインストールされた状態で出荷されます。Sun StorEdge 5210 NAS の管理用にソフトウェアをインストールする必要はありません。

Web Administrator 管理インターフェースを使用するには、次のいずれかのブラウザが動作する、ネットワークに接続しているコンピュータが必要です。必ず Java Plug-In 1.3.1 以上を組み込んだ Java™ テクノロジ対応ブラウザを使用してください。

- Internet Explorer
- Mozilla™
- Netscape Navigator™

注 – 最新の Java Plug-In ソフトウェアをダウンロードするには、
<http://java.com> にアクセスしてください。

このリリースで解決された問題

- SNMP 属性 *system.sysDescr.0* が正常に設定されるようになりました。
- すべてのチェックポイントで **Backup** オプションを表示するようになりました。
- 5210 JBOD に搭載されている EMU ボードに適切な機器が取り付けられ監視されるようになりました。
- NAS ヘッドはどのような状況でも不正なバッテリーエラーを送信しなくなりました。
- NAS オペレーティングシステムの FTP モジュールは、システム起動時に自動的にロードされるようになりましたが、デフォルトでは使用不可になっています。
- GUI は、2 つではなく、3 つの外部 JBOD を表示できるようになりました。
- 50 を超えるファイルが作成された場合でも、コンソールがすべてのファイルボリュームを表示できるようになりました。
- 結合の作成および削除 (ポートの結合) により、システムが応答しなくなることがありましたが、この問題は解決されました。

既知の問題

- Sun StorEdge 5210 NAS に大きな入出力負荷がかかると、極度な状態では CIFS クライアントの接続が切断されることがあります。
回避策: 次の CLI コマンドを使用して、ファイルをただちに削除するようにシステムを設定します。

```
fsctl attic disable <volume>
```
- SNMP 属性 *se5210RaidBBUStatus* が「unknown」に設定されます。
回避策: なし
- 「Unowned SFS2」ボリュームは管理できません。
回避策: ファイルシステムを回復できない場合は、次の CLI コマンドを使用してその領域を再利用できます。

```
fszap <disk> <partition>
```

- ナビゲーションパネルで「Configure NFS」->「Setup Hosts」/「Add user」を実行すると、読み込みに長い時間がかかります。この間、画面は更新されず、NIS/NIS+ マッピングに多数のエントリがあるため、システムがハングアップしたように見えます。

システムの動作が完了し画面が更新されるまで待機してください。使用中のシステムを再起動しないでください。

- 次のように入力してチェックポイント用のボリュームをマウントすると、pwd コマンドの動作が不正になります。

```
mount -F nfs se5k:/vol01.chkpnt /z/vlcp (誤)
```

上記の方法でマウントすると、/z/vlcp 下のどの場所で pwd コマンドを実行しても、次のように不適切に表示されます。

```
/
```

回避策: /vol*.chkpnt ボリューム自体をマウントするのではなく、そのサブディレクトリをマウントしてください。たとえば、次のようなマウントコマンドを使用すると問題を回避できます。

```
mount -F nfs se5k:/vol01.chkpnt/cp2 /z/vlcp/cp2 (正)
```

- 関連するボリュームがない場合に、古いエクスポートが表示されます。

回避策: Web Administrator を使用して、古いエクスポートファイルシステムを手動で削除します。ナビゲーションパネルで、「UNIX Configuration」->「Configure NFS」->「Configure Exports」パネルを選択して、古いエクスポートファイルシステムを削除します。

- File Replicator でミラーボリュームの役割を変更してから電源を再投入すると、ミラーが損失します。

回避策: ミラーを再作成する必要があります。『Sun StorEdge 5210 NAS ソフトウェアインストール・設定・ユーザーマニュアル』を参照して、ミラーおよび File Replicator に関する手順を確認してください。

- 最新の MIB ファイルは、sunsolve.sun.com から入手できます。

- Sun StorEdge 5210 NAS にテープライブラリを接続する場合は、必ず、Sun StorEdge 5210 NAS の背面にあるシステムボード上の SCSI コネクタ (銅線ネットワークポートの横) に SCSI ケーブルを接続してください。

『Sun StorEdge 5210 NAS ハードウェア設置・設定・ユーザーマニュアル』には SCSI テープを接続するポートの詳細な説明と、RAID カード上の「予備の」外部接続用 SCSI ポートを使用しないための注意が記載されています。

- 大規模な NDMP バックアップを行うと、/dvo1 が NDMP のジョブファイルでいっぱいになる可能性があります。

回避策: 大規模なファイルボリュームのバックアップを開始する前に、/dvo1 以外の大規模な SFS2 ボリュームに一時的にバックアップディレクトリを設定する必要があります。

1. SFS2 ファイルのボリューム (/backup など) を作成します。
2. Telnet で NAS ヘッドに接続し、次の 2 つのコマンドをこの順序で実行します。

```
set backup.directory/backup
savevars
```

この一時バックアップディレクトリの割り当ては、再起動すると無効になります。したがって、再起動するたびに設定が必要です。

ファイルボリュームのバックアップは、複数のボリュームを同時にバックアップするのではなく、1 つずつ順にバックアップするようにスケジュール設定する必要があります。1 つのバックアップジョブで複数のファイルボリュームをバックアップすると、NDMP ビットマップファイル (たとえば ndmp.[x] - x は任意の整数) がいくつか backup.directory に作成されることがあり、その場合は手動でファイルを削除する必要があります。このファイルの削除は、必ずバックアップジョブが完了してから行なってください。

マニュアルの補足

この節では、マニュアルの内容を補足または修正する情報を示します。

ファイルボリュームのエクスポート

ファイルボリュームのエクスポートは、「Set Up Hosts」画面で「承認された (Trusted) グループ」に追加することによって (Solaris や UNIX と同様の) スーパーユーザー権限を割り当てた、一連のホストに対してのみ行うことができます。

または、一連のホストを「Host Group」に追加してから、「with Map Root User set to Root User」オプションを使用して必要なファイルボリュームをこのホストグループにエクスポートすることもできます。

関連マニュアル

このリリースの製品には、次のマニュアルが同梱されています。

『Sun StorEdge 5210 NAS の設定』 (設定手順のポスター)

その他の関連マニュアルは、次の Web サイトから入手できます。

http://www.sun.com/hwdocs/Network_Storage_Solutions/nas

その他の関連マニュアルは次のとおりです。

『Sun StorEdge 5210 NAS クイックリファレンスマニュアル』

『Sun StorEdge 5210 NAS ハードウェア設置・設定・ユーザーマニュアル』

『Sun StorEdge 5210 NAS ソフトウェアインストール・設定・ユーザーマニュアル』

『Sun StorEdge 5210 NAS Safety and Compliance Guide』

『Sun StorEdge 5210 Expansion Unit Safety, Regulatory, and Compliance Manual』

『Sun StorEdge 5210 FRU Upgrade Instructions』

Sun の技術サポート

この製品を設置または使用する際にサポートが必要な場合は、1-800-USA-4SUN に電話で問い合わせるか (米国のみ)、または次の URL を参照してください。

<http://www.sun.com/service/contacting/index.html>

